

長久倶楽部

発行責任者：長久まちづくりセンター長 安道俊治

長久町の
人口・世帯数

男：1,438
女：1,580
合計：3,018
世帯数：1,449

(12月1日現在)



長久探検ウォーク in 川南

新企画！ スマホでオリエンテーリング 親子60人 笑顔いっぱいポイント探し

長久探検ウォークを11月24日に開催。親子60人が川南地区の歴史を学びながら、ウォーキングしました。今回は長久小学校2年生のPTA親子活動として実施。初の試みで、スマートフォンを使ったオリエンテーリングを行いました。参加者はグループに分かれ、スマホに表示される20か所のポイントを探しながら、コースを巡りました。タイムを競わないイベントにもかかわらず、子供たち

たちは「ここがポイントだよ」「早く、早く」と元気がいっぱい走り回っていました。また、コース内には用田温泉跡や古墳、包み隠し地蔵など川南の歴史や伝説にまつわるポイントを6か所設けました。6か所のポイントについては、紙の資料を配付したほか、ポイントに着くと、これらに関する解説がスマホでも見られるように設定。親子で地域学習もできるようにしました。



△記念写真を撮ってポイントクリア。次のポイントに進みます

親子で楽しくウォーキング



スマホをたよりにポイントを探します

今後の行事予定

- 12月23日(月) 1年生昔遊び体験
- 12月25日(水) まちセン大掃除
- 12月27日(金) まちセン仕事納め
- 1月6日(月) まちセン仕事始め
- 1月8日(水) 沢 悠佳コンサート
- 1月19日(日) 福祉委員研修会
- 2月11日(火) 文化講演会
- 2月24日(月) 長久とマルシェ

来年もよろしくお祈りします

今年も残すところ2週間ほど。この一年間、長久まちづくりセンターをご利用、またセンター事業にご参加いただき、ありがとうございました。皆さんよいお正月をお迎えください。来年もよろしくお願いいたします。 職員一同



竹パウダーの効果を説明する福山さん

竹パウダーで地方はマッパします 日本一の米の生産者が激励

「長久竹の子族」は竹の有効活用に取り組んでいます。現在、メンマや粉砕した竹のチップ、牛のたい肥を混ぜた竹パウダーを生産販売しています。竹の子族では12月10日、広島県庄原市の山内自治振興区米づくり研究会の福山権二代表を講師に迎え、竹

の講座を開催しました。同研究会は平成22年から、牛たい肥を混ぜ発酵させた竹パウダーを使った米づくりをしています。そして、収穫したお米をブランド米「里山の夢」の名で全国に販売しています。この里山の夢は、これまで全国レベルのコンテストで何度も全国1位に輝くなど「日本一おいしいお米」と呼ばれています。約20人の参加者を前に福山さんは「農地を荒らす竹を伐採することで、おいしいお米づくりと獣害対策につながりました」「竹パウダーが地方をアップさせ、おいしいお米を育むことは広島県立大学の分析で、実証されています」とデータを示しながら説明。そのうえで「竹パウダーを使うと、必ずおいしいお米ができます。この地区でもぜひやってみてください」と激励しました。



開校100周年、昭和49年ごろの長久小学校（グラウンドから北側を撮影。左側の建物は講堂、右は職員室や特別教室が入る管理棟）

祝 長久小学校 開校150周年を迎えました

長久小学校は今年度、開校150周年を迎えました。今後、小学校では150周年事業として「長久小」の人文字を作り、航空写真を撮影する予定です。

で初めての小学校が開かれました。また同年、稲用村には稲用学校が浄土寺に置かれました。その後、村の合併が進むと校舎も幾度かの移転を経て、大正12年(1923年)に現在の場所に小学校が建設されました。児童数は昭和33年の405人が最も多かったものの、昭和40年代後半にはいっきに半分まで減少しました。その後の50年間は150人~250人前後で推移しています。今年度の児童数は197人。市内では大田小学校に次ぐ児童数です。

※参考文献：長久教育百年史(昭和49年発行)

メモ 明治7年(1874年)、当時の野井村の野井神社に長久

長久とマルシェ 親子で本との一期一会



読み聞かせ 絵本の世界にどっぷりと



素敵な本に出会えましたか？



ボールペンの試し書き投票会も



さわらびシンフォニックバンドの生演奏……多くの人が聞き入っていました

特別展 川上時義展

圧倒される展示品の完成度と
工夫された展示手法に目を見張る



特別展は長久町文化協会が企画。川上さんが残された数多くの作品の中から秀作を選び、説明文を添えるなど、見やすくわかりやすい展示になるよう工夫しました。

来場された皆さんは、作品の完成度に驚かれる一方「本格的な展示」と賞賛していました。



大小さまざまな篆刻 (右)



天然石に文字を刻んだ巨大な篆刻

大盛況！長久町文化祭

作品展示や舞台発表、食のコーナーなど盛りだくさん

長久とマルシェも同日開催 来場者増に相乗効果



長久町文化祭を11月3日に長久小体育館を主会場に開催。同日、長久まちセンで行われた「長久とマルシェ」と合わせ、延べ9百人が来場しました。

体育館では町民や保育園児、小学生の作品展示のほか、ちらしずし販売や喫茶コーナー、フリーマーケット、舞台発表が行われ、多くの人でにぎわいました。

また、同会場では稲用の故川上時義さんの特別展も行われました。天然石に文字を刻んだ篆刻(てんこく)や刻字、陶芸作品から竹細工、町内に残された文献を調べまとめられた郷土史資料など、多彩の作品群が展示され、来場された皆さんは一様に驚かされていました。

中庭の屋台コーナーも大人気。多くの人が地元グルメを買い求めていました。さらに「長久とマルシェ」では、本やお菓子の販売のほか、絵本の読み聞かせや、ボールペンの試し書きの投票会なども行われ、人気を博していました。

約900人が来場



サンチャイルドの伊藤園長



こぼと保育園



沙摩銀華戀 (そうまぎんかれん)



サンチャイルド



宅野の宮本さん



一人ひとりの質問にも、マンツーマンで教えてくれます

いまさら聞けない……
基礎からのスマホ教室
スマホの基礎から教えてくれると好評の、まちセン

講師は五十猛町の林志信さん。スマホ操作の基本から写真や動画の撮影と管理方法、LINEの使い方といった、すぐに役立つ操作方法だけでなく、スマホを使う際に注意しなければならぬ点など、参加者個人の習熟度に合わせ、わかりやすく説明されました。

の「スマホ教室」を今年度も11月7日から3回コースで開催。延べ33人が参加しました。



町民 DE ラジオ体操

100人が元気に♪ 1. 2. 3

長久町体育協会では、9月29日に「長久町民 DE ラジオ体操」を小学校校庭で行いました。このイベントは、令和4年度から町民運動会の代替行事として開催していたもの。

当日は早朝にもかかわらず約100人が参加され、晴天の下さわやかにラジオ体操をしました。

町体協の福間克利会長は、「町民親睦の機会でもあり、時間短縮や競技種目の変更をしてでも、来年度はぜひ、町民運動会を再開したい」と話しています。



旗とりゲーム



パソコンを使って解説する和田さん

なお好評につき、来年2月11日に開催する長久町文化講演会においても、和田さんから吉永藩の話を中心に郷土の歴史を語ってもらう予定にしています。詳しくは改めてお知らせします。お楽しみに。

町内に住む高齢者の親睦を目的に、4月に発足した長久の「オールドクラブ」。これまで、日帰り旅行やグラウンドゴルフ大会など多くの行事を通して、会員相互の親交を深めています。12月2日は、忘年会(食事会)を兼ねた歴史講座と尺八演奏会を長久まちセンで開きました。

歴史講座の講師は、これまで3回、大田の歴史を解

説された長久町文化協会会長の和田秀夫さん。今回は江戸時代、吉永藩が敷設し、長久町の水田をはじめ、周辺の稲作づくりに多くの恩恵をもたらした「森山用水」について話されました。

森山用水、特に吉永藩の藩主加藤家について、画像を交え解説され、約30人の参加者たちは、初めて知る郷土の歴史に興味津々。メモを取るなど熱心に聞き入っていました。

町文化協会の和田会長を講師に 吉永藩や森山用水について学習

オールドクラブ